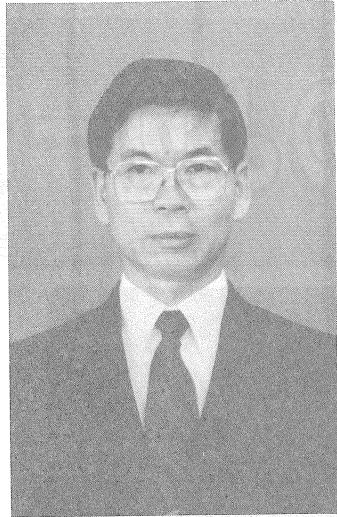


事務長に就任して

小坂規矩雄



私が当校へ奉職いたしましたのは、東京オリンピックの行なわれました年（昭和三九年十月）の、ちょうど一年前、昭和三八年十月でした。当時は、戦後のベビーブームの時に生まれた子供達が、いよいよ高校進学への学齢期に達しており、高校受験を志望するものが年々増加している最中でした。また、その頃は戦後の処理も一段落し、経済活動はかなり活発に行なわれる総会が開催された。

総会は、森本勝氏（四期、庶務）の開会の辞で始まり、秋山会長は挨拶の中で、同窓会四〇周年にあと二年となつた。このため、三名の新役員を迎えて、同窓会の活性化をはかるとともに、同窓生の絶大なる協力を要請された。

私が当校へ奉職いたしましたのは、東京オリンピックの行なわれました年（昭和三九年十月）の、ちょうど一年前、昭和三八年十月でした。当時は、戦後のベビーブームの時に生まれた子供達が、いよいよ高校進学への学齢期に達しており、高校受験を志望するものが年々増加している最中でした。また、その頃は戦後の処理も一段落し、経済活動はかなり活発に行なわれる

ようになり、人々の生活も安定しつつあった時です。個々の生活基盤が回復へ向かつたことは、より文化的な生活への希望を持てる時代になつたことです。そして人々が子女の教育についてより一層の努力を惜しまない状況にあつたわけです。そんななかで、当時二〇〇〇名を越える生徒をようし活気あふれる学校に、職場を得ることができたこと。

そして、事務職員として会

計業務を主に担当させていたことは、大変勉強になりました。小学校に入学してから以後大学までの約十六年間の教育を受ける立場での学校の見方。そして、間接的な立場ではありますが教育を授ける側に立つての教育現場での経験は色々な点で違った見方を教えてくれました。それは私の職業人としての力の滋養に大いに役立っていると思います。

これからも、今までに培われた力を、微力ではあり

の一致した努力は勿論のこと、同窓の諸兄並びにご父兄のお力添えがなければ、乗り越えられるものではございません。つきましては以前にも増して今後のご援助、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、新館・別館の落成にあたっては、同窓の諸兄より絶大なるご援助をいただき、御蔭様ですばらしい施設を完成させることができました。今後の教育活動に役立て、立派な生徒を育て、送り出すことができると思っております。あらためてお礼申上げます。

This image is a black and white photograph. The left portion shows a building's exterior with several rectangular windows arranged in a row. The right portion shows a textured, possibly paved or gravelly ground surface. The two parts are separated by a diagonal white line.

A black and white photograph of a modern interior space. In the foreground, a long, low sofa is positioned along a wall. A large, rectangular rug lies on the floor in front of the sofa. Above the sofa, a minimalist ceiling fixture consisting of four rectangular panels is mounted. The background shows a dark wall and a ceiling with recessed lighting.

六月十一日(月)午後六時より、顧問および、役員が参加し、「二子玉川駅前「富士観会館」にて、役員総会が開催された。

総会は、森本勝氏(四期)、庶務の開会の辞で始まり、秋山会長は挨拶の中で、同窓会四十周年にあと二年となつた。このため、三名の新役員を迎えて、同窓会の活性化をはかるとともに、同窓生の絶大なる協力を要請された。

ようになり、人々の生活も安定しつつあった時です。個々の生活基盤が回復へ向かつたことは、より文化的な生活への希望を持てる時代になつたことです。そして人々が子女の教育についてより一層の努力を惜しまない状況にあつたわけです。そんななかで、当時二〇〇〇名を越える生徒をようし活気あふれる学校に、職場を得ることができたこと。

そして、事務職員として会

私の職業人としての力の養育に大いに役立っていると思ひます。

これからも、今までに培われた力を、微力ではありますまいが一生懸命に役立て頑張つていただきたいと思います。

さて、今までは順調な発展を遂げてきた高等学校の運営について、色々な点で厳しい環境となつてしまりました。当校においても例外ではありません。内部的要因として駒大への優先入

商社でてはるいが音を守
成させることができました。
今後の教育活動に役立て、
立派な生徒を育て、送り出
すことができると思いま
す。あらためてお礼申し
上げます。

最後に、この浅学非才な
私に対し一層のご指導ご鞭
撻を賜りたくお願い申し上
げ、遅れましたがご挨拶に
変えさせていただきます。

(昭和六十二年四月就任)

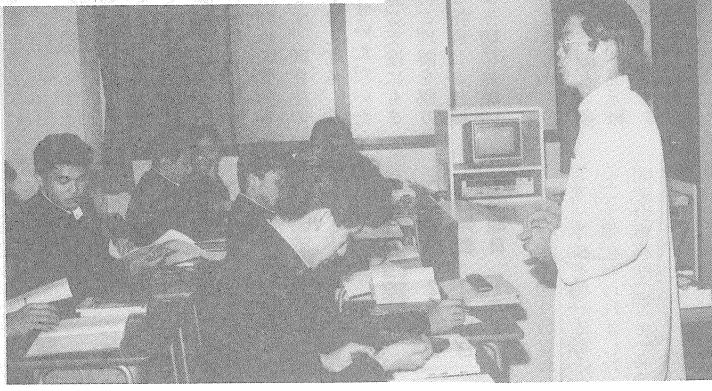
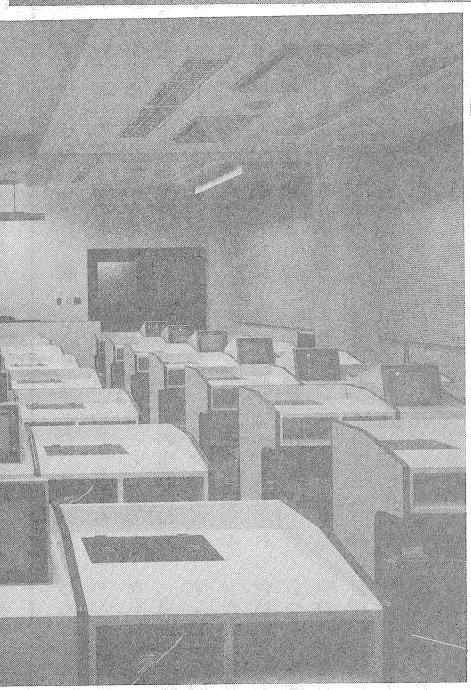
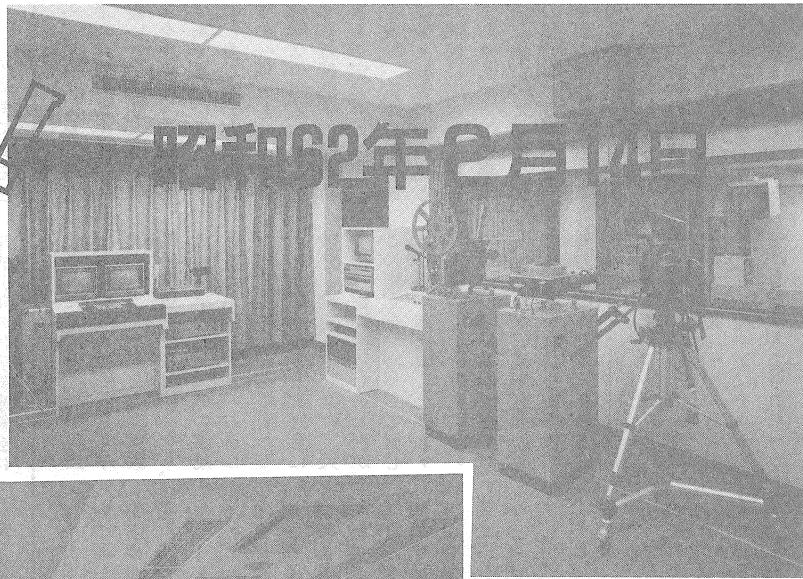
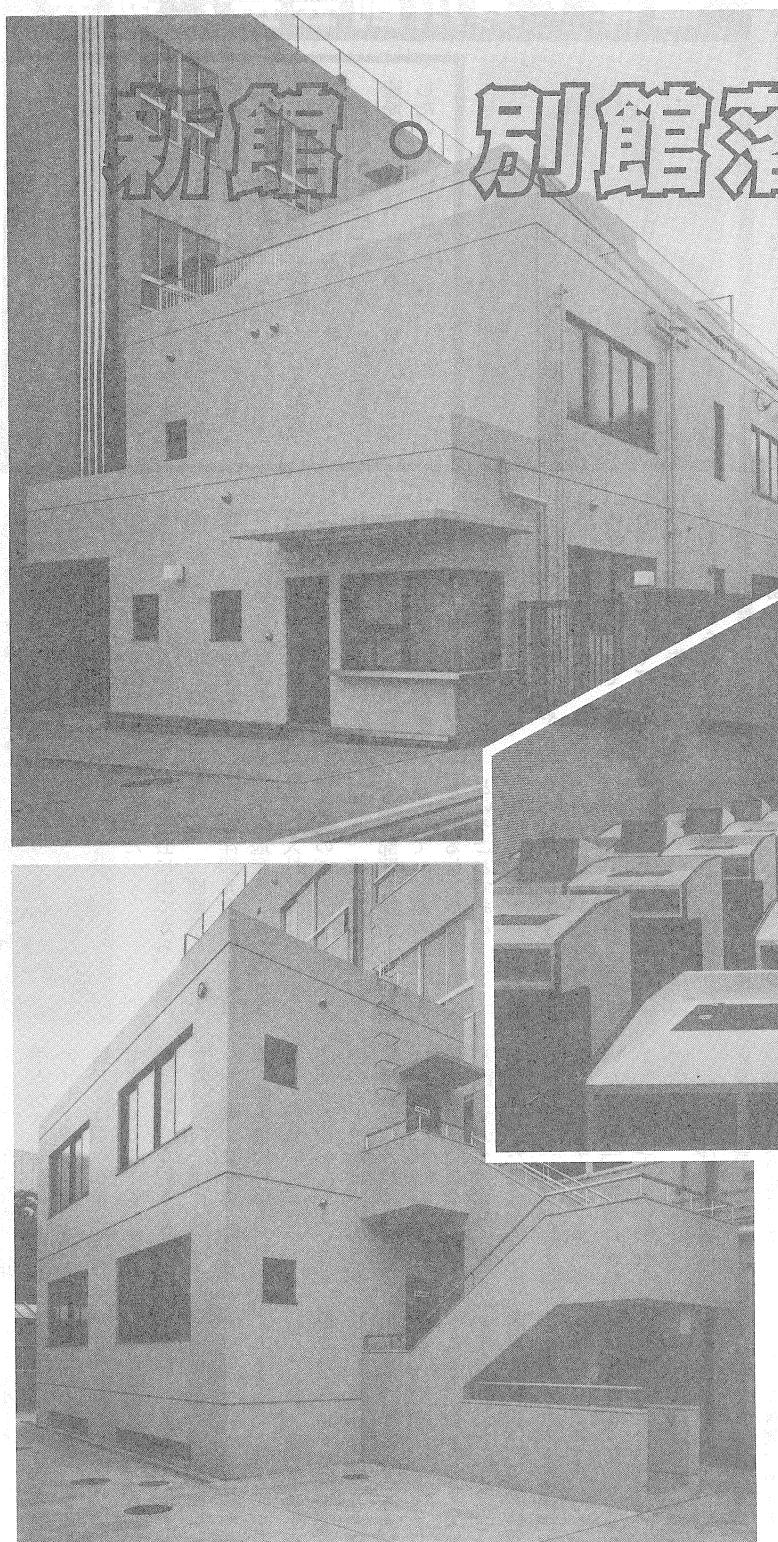
A decorative horizontal border at the bottom of the page, consisting of a repeating diamond or zigzag pattern in a light color against a dark background.

A black and white photograph showing a building facade with multiple windows and a bare tree in front. The image is cut off by a diagonal line.

A black and white photograph of a modern interior space. In the foreground, a long sofa is positioned facing a large window. Above the sofa hangs a minimalist ceiling fixture consisting of four rectangular panels. The room has a high ceiling and a dark floor.

As a result, the first two years of the program were spent in the classroom, learning the basic skills of the profession. The third year was spent in the field, working with the local community to identify their needs and develop appropriate programs. The fourth year was spent in the field, working with the local community to identify their needs and develop appropriate programs.

A close-up photograph of a person's hand holding a white envelope. The hand is positioned as if about to open or seal the envelope. The background is dark and out of focus.



〔会計報告〕

昭和63年度収支決算報告書

1. 収入の部

	予 算	決 算
前 年 度 繰 越 金	5,022,689	5,022,689
終身会費(10,000×)	5,010,000(501)	4,970,000(497)
利 息		12,611
計	10,032,689	10,005,300

2. 支出の部

	予 算	決 算	備 考
事 務 費	1,000,000	299,795	パソコン・ローン他
通 信 費	100,000	15,500	切手代
会 議 費	400,000	387,260	役員総会他6回
慶弔費	300,000	160,300	記念品代他
同窓新報発行費	2,000,000	0	
クラス会助成費	200,000	40,000	8件
クラブ助成費	500,000	467,500	吹奏楽部楽器購入補助
募 金 関 係 費	200,000	0	
予 備 費	400,000	147,050	校旗修理代
小 計	5,100,000	1,517,405	
繰越金(預金)	4,932,689	8,487,895	
総 計	10,032,689	10,005,300	

上記の通り、関係書類監査の結果、妥当且適正であることを証明いたします。

平成元年5月22日 原正男 印
橋本信義 印

平成九年度予算

1. 収入の部

		予算額
前 年 度 繼 越 金		8,487,895
終 身 会 費		5,440,000
(10,000×544人)		
計		13,927,895

2. 支出の部

事務費	1,000,000
通信費	100,000
会議費	800,000
慶弔費	300,000
同窓新報發行費	2,500,000
クラブ会助成費	200,000
クラブ助成費	1,000,000
名簿関係費	200,000
予備費	500,000
小計	6,600,000
繰越金(預金)	7,327,895
総計	13,927,895

新役員決る！ 若返った顔触れ

寄附者御芳名

総計 803名 7,506,000円

永年勤続者表彰

六十二年度・六十三年度・平成元年度の各役員総会にて、十二名の教職員方が、永年勤続(四十一年・三十年・二十年・十一年)の感謝として同窓会より記念品を受けられた。

◎二十年勤続(昭43就任)

浦敏之 教諭(英語)

◎二十年勤続(昭43就任)

田島宏樹 教諭(生物)

◎三十年勤続(昭34就任)

神谷道倫 教諭(国語)

◎十年勤続(昭53就任)

菊地主洋 教諭(英語)

◎十年勤続(昭44就任)

深谷元 教諭(地理)

◎十年勤続(昭54就任)

有川友弘 教諭(音楽)

【六十二年度】
◎二十年勤続(昭42就任)

馬場捷美 教諭(化学)

◎十年勤続(昭52就任)

池川淨 教諭(英語)

◎十年勤続(昭53就任)

白浜正幸 教諭(保育)

◎十年勤続(昭44就任)

岩岸孝 教諭(国語)

◎十年勤続(昭54就任)

荒谷泰正 教諭(世界史1年)

◎三十年勤続(昭33就任)

和田實正 教頭(国語)

◎三十年勤続(昭24就任)

白浜正幸 教諭(保育)

◎三十年勤続(昭24就任)

講師講師

◎三十年勤続(昭34就任)

</